

第2学年 授業改善推進プラン

1組 30 2組 28

1. 昨年度 授業改善推進プランについての検証

国語科	音読の工夫を具体的に考えさせたうえで音読の練習をすることで、場面の様子を想像したり気持ちを込めて読んだりすることができるようになってきた。漢字では、意欲的に取り組むものの、正確に字の形をとらえて書くことに課題がある。
算数科	テストでは絵や図で問題を判断してしまったり、文章問題を最後まで読み取らずに答えてしまったりすることが多く見られた。数字の書き間違いによる誤答も多い。数種類の問題が集まると、混乱しやすかった。
体育科	運動経験が少ない児童がおり、反復横跳びやボール投げ、泳力、持久力に差がある。ゲームなどを通して様々な動きを楽しんで行っていく。
生活科	生きものや植物のお世話に興味をもって取り組んでいるが、お世話を忘れてしまうなど最後まで責任をもって取り組むことに課題のある児童がいる。
音楽科	歌うことや演奏することを楽しんでいる。鑑賞では拍の流を感じながら体を動かすなど、音楽を楽しんで聴くことができる。鍵盤ハーモニカはほぼ全員の児童が正しい音で演奏することができるが、一部に取り組みが難しい児童がいる。
図画工作科	大変意欲的に活動し、表現することを楽しんでいる。やることを決められず、活動にとりかかるまでに時間がかかる児童がいる。

2. 令和元年度 授業改善推進プラン

国語科

関心・意欲・態度	課題 関心のあることについて、さらに調べようと粘り強く取り組む児童と、少し調べて満足してしまう児童の二極化。 重点 関心・意欲がさらに高まるように、いろいろな視点や調べ方を具体的に示すことで、新たな疑問や発見がうまれるようにする。
話すこと 聞くこと	課題 話の途中で集中力が切れ、最後まで話を正確に聞き取ることや、話の順序を考えて、伝わりやすく話すこと。 重点 視覚情報を効果的に使い、聞いていることが理解できているか確認しながら進めることで、集中力を持続させる。話す事柄の順序をいろいろ変えながら、分かりやすく伝えるための話し方を考えさせたり、基本の話型を提示したりする。
書くこと	課題 文章の組み立てを意識して書く。「読点」「句読点」「改行」の使い方。 重点 メモ書きの並べ替え作業や文章構成の枠シートを使った指導。声に出して読み合い、修正をする。事柄ごとに小作文を書いてつなげることで、改行の使い方を理解させる。
読むこと	課題 文章一部分だけから意味を捉えたり、途中から自分の生活体験や想像をもとにした読み取りになったりする傾向がある。 重点 内容を正しく読まないで答えられない発問の工夫をし、文章を正確に読ませる。文章のどの部分からそう考えたのかを確認する。
言語に関する 知識・理解	課題 鉛筆の持ち方の改善。漢字を正確に見て捉える力。三文字目からの誤字・脱字。 重点 鉛筆の持ち方と姿勢の声掛け。正誤の漢字を見比べて違いを確認させたうえで、書くようにする。

算数科

関心・意欲・態度	課題 計算練習などの問題には意欲的に取り組むが、考え方を説明したり、友達の説明を聞いたりするのに消極的な児童がいる。 重点 一人一人が自分の考えをもって説明活動に臨めるように、一人で考える時間を確保する。友達に分かりやすい説明ができたという達成感をもつことができるように、簡単な問題でも繰り返し説明活動を行っていくことで、自信をもって説明ができるようにする。
算数的な 思考・判断	課題 計算はできるが、計算の仕方の考え方を説明できない児童がいる。 重点 具体物の操作を多く取り入れ、構造をしっかりと理解できるようにする。自力解決の時間やペアで説明し合う時間を十分取り入れ、説明することへの抵抗感を減らしていくことで、全体の場でも説明ができるようにする。
算数的な 技能	課題 正しく線を引いたり、水や長さの単位の計算をしたりすることに課題がある児童がいる。 重点 活動時間を確保し、他教科でも活用場面を作ることで繰り返し線を引く活動ができるようにする。単位について掲示したり、授業の最初に短時間復習したりする活動を積み重ね、毎日振り返ることができるようにする。
知識・理解	課題 単位の換算を苦手としている児童がいる。 重点 量感を意識させたり、その単元だけで単位を扱うのではなく、その他の単元でも継続的に扱い定着を図る。

体育科

関心・意欲・態度	課題 楽しく運動しているが、できないことに対して、取り組む時に消極的になってしまう児童がいる。 重点 ゲームやスモールステップの活動を取り入れ、各々がめあてをもち、楽しく自信をもって運動ができるようにする。
運動に対する 思考・判断	課題 より楽しく運動するための動きを、自ら工夫することが苦手な児童がいる。 重点 ゲームの領域では、学級でルールを工夫したり、グループで攻め方や守り方を考えたりする場面を設定していく。
運動における 技能	課題 ソフトボール投げが苦手な児童が多い。 重点 ボールを投げるゲームを多く取り入れて継続的に行い、ボールを使う動きの経験を増やしていく。
安全・健康に 対する知識・ 理解	課題 重点

生活科

関心・意欲・態度	課題	植物や虫を育てる時に、よりよくするための工夫を調べることができる児童が少ない。
	重点	児童が自分で調べることができる資料の十分な準備と、具体的な取り組みの際の事前指導を丁寧に行う。
生活に対する思考・表現	課題	活動の場面・状況に合わせて工夫を加えて取り組むことに課題がある。
	重点	学習の過程や変化に気付くカードを作成する。他教科との連携指導を行う。
気付き	課題	気付きの個人差が大きい。
	重点	自分の考えや思いを児童同士が共有する場を定期的に設けたり、掲示物などで学習過程を視覚化したりすることができるようにする。

音楽科

関心・意欲・態度	課題	歌うことや演奏することを楽しみながら活動できるが、めあてを意識して取り組むことができないことがある。
	重点	練習や活動の目的を視覚化して掲示し、見通しがもてるようにする。
表現の創意工夫	課題	曲のイメージをつかめずに、楽曲に合わせた歌い方や演奏の仕方、工夫することが十分でない児童がいる。
	重点	歌詞に合った写真や絵を見せたり、思いや気持ちを想像させたりして、曲に合わせた歌い方や演奏方法を指導する。また、互いのよさを見付けたり、伝えたりする活動を行う。
表現の技能	課題	正しい音程で歌ったり、正しい運指や吹き方で鍵盤ハーモニカを演奏したりすることが難しい児童がいる。
	重点	全員で歌う際に、正しい音程で歌えるように繰り返し練習し、グループで歌う活動も行う。鍵盤ハーモニカの演奏を見合ったり、聞き合ったりしてアドバイスをし合う活動を取り入れる。
鑑賞の能力	課題	楽曲を聴いて感じたことを体で表現するのが不十分な児童がいる。
	重点	常時活動の中で、拍子やリズムを感じ取る活動を取り入れ、音楽を感じ取る力を伸ばしていく。

図画工作科

造形への関心・意欲・態度	課題	楽しんで造形活動に取り組んでいる児童が多い。継続できるようにする。
	重点	グループでの活動や造形遊びを多く取り入れて、さらに活動への意欲を高めていく。
発想や構想の能力	課題	描くことやつくるものを決められず、発想を豊かに広げられない児童がいる。
	重点	友達の作品を観る機会をつくり、様々な表現に気付かせる。上手くいかなかったとしても、自分の表したいことを表現していく雰囲気づくりをする。
創造的な技能	課題	基本的な用具の使い方（はさみの使い方、のりの使い方、紙の角をそろえてまっすぐに折るなど）や基礎的な技能の習得が不十分な児童がみられる。個人差が大きい。
	重点	練習する時間や個別指導の時間を多く設け、教師が一人一人と関わりをもちながら指導できるようにする。
鑑賞の能力	課題	友人の作品を楽しく見たり、友達の工夫に気付いたりする児童が多い。継続できるようにする。
	重点	形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができるよう、感じたこと話したり聞いたりする活動を取り入れる。教師が、楽しく鑑賞する雰囲気づくりをする。